平成24年第4回定例会審議結果

○・・賛成　　×・・反対

議案番号	議案等の名称 ＼ 議員名	審議結果	大空				公明党			民政クラブ			日本共産党									賛成	反対
			大野洋子	漆畑和司	出雲敏太郎	近藤英基	山中基充	松尾孝彦	五伝木隆幸	内野嘉広	杉田恭之	大曽根英明	松村和子	髙田克彦	持田敏明	髙橋剣二	齊藤芳久	長谷川清	金泉婦貴子	藤原建志		
議・議案第1号	鶴ヶ島市議会会議規則の一部を改正する規則について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
議・議案第2号	地方自治法の改正に伴う関係条例の整備等に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第50号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第51号	鶴ヶ島市一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第52号	鶴ヶ島市防災会議条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第53号	鶴ヶ島市暴力団排除条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第54号	鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第55号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第56号	平成24年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	15	2
第57号	平成24年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第58号	平成24年度鶴ヶ島市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第59号	公の施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	15	2
第60号	市道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第61号	市道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0
第62号	専決処分の承認を求めることについて（衆議院議員選挙に要する経費の補正予算）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	17	0

会派「民政（みんせい）クラブ」を結成（平成24年11月1日結成）　所属議員は、内野嘉広議員、杉田恭之議員、大曽根英明議員です。

会派「青風会（せいふうかい）」を結成（平成25年1月7日結成）　所属議員は、持田敏明議員、金泉婦貴子議員、藤原建志議員です。

トピックス TOPICS 補正予算

平成24年度一般会計補正予算（第3号）と特別会計補正予算2議案が可決されました。

一般会計

人件費

Q 一般職員給与の減額補正は。

A 人事課長　前年度の12月現在の職員配置を基に本年度の予算を編成している。本年度の人事異動、昇格、昇任等を含めた職員配置による精査を行った結果である。

道路交通環境安全対策事業

Q 補正予算の内容は。

A 道路建設課長　市道77号線の一本松駅から通称五差路の県道に至る部分のうち、道路幅が狭くなっている部分を拡幅するための用地取得及び物件移転に要する経費である。

障害者在宅福祉推進事業

Q 増額となった具体的な内容は。

A 障害者福祉課長　医療費の助成を行う事業である。月平均の受給者の数が、昨年度は約1210人だったが、本年度は上半期で1257人と増えたためである。

相談支援事業

Q 相談支援センターの事業内容は。

A 障害者福祉課長　障がいのある人が福祉サービスを利用しつつ、地域生活を営むことができるように相談に応じ、必要な援助を行う。

特別会計

国民健康保険

Q 現状で24年度の医療費が約8％アップしている理由は。

A 保険年金課長　23年度と同様に、65歳以上75歳未満の前期高齢者の方の数が増加しており、特に前期高齢者の入院費が大きく伸びていると思われる。

介護保険

Q 介護認定ソフト改修の安全性は。

A 高齢者福祉課長　認定ソフトは全国統一のもので、国が安全性を確保している。市のシステムは、専門業者が改修を行う予定で、定期的な保守点検も行っている。不具合が生じた場合は、専門業者による対応がなされている。